

食生活の改善で生きる力を・予防接種で命を守る



渡辺ふみ子
(公明党)

●心の健康と食生活の関係、学力と朝食の関係、キレることや不登校の様々な理由の中にも食生活の問題があるという。暴力、無気力、統合失調症の根底には砂糖のとり過ぎからの低血糖があるとの見解がある。

(ア)食育HP「Koganei i・Style」を周知し、バランスのよい食事を毎日取ることを勧めるべき。(イ)スナック菓子等の取り過ぎによる急激な低血糖は、イライラ等の原因になると言われているが、食生活の改善について、市の見解は。

部長 (ア)市のアンケートでは、朝食を毎日食べている小学生97%、中学生88%、一般市民75%。目標の100%を目指し、動画をHPに掲載するなど普及啓発したい。

(イ)HPやツイッターによる情報提供や、栄養講習会等で周知したい。

●命を守るワクチン接種の更なる推進を。最近では男女ともにHPVワクチン接種が進められている。効果や副反応について周知し、10代・20代の男性のワクチン接種にも助成しないか。

部長 HPVワクチン接種は、パートナーへの感染予防になるほか、男性の咽頭がん、肛門がんの予防にもなる。他市の実施状況を注視し、まずは女性への接種を優先したい。

DXの進捗状況と課題／過酷な夏を乗り切るため



五十嵐京子
(自民党・信頼)

●小金井市は、立川市・三鷹市・日野市が行っている東京自治体クラウドに共同利用する検討を進めており、10月には合流することになっている。(ア)進捗状況と期待する効果は。(イ)書かない窓口」という窓口での時間短縮、作業の効率化を図る事例が増えている。小金井市の検討状況は。(ウ)「引越しワンストップ」の進捗状況は。(エ)デジタル人材不足を補うための国や都の制度の活用状況は。

部長 (ア)通信テストは完了し、おおむね順調に推移している。コスト面での費用抑制、業務の効率化やさらに検討したい。

都北南建作成の道路概略検討報告書について



古畑俊男
(子どもの権利)

東京都北多摩南都建設事務所が今回作成した小金井3・4・11号道路概略検討報告書は、3つの道路構造(橋梁案、掘割案、地下案)それぞれについては、核心部分の各道路構造の評価と採用する道路構造について、黒塗り未開示となっている。しかし、一部開示部分から設計速度の変更やトンネル形状の変更を行っていることがわかる。(ア)これらのことから、私は、地下案を採用したと考えるが、部局の見解は。(イ)部局から提出された図面から国分寺崖線部分は、階段状に宅地造成され、戸建て住宅として利用

されているとのこと。もし地権者様等関係する方々のご苦勞をいただき、地下案による道路整備となった場合、公園計画でもある上部は、むしろ公園として自然再生に寄与するのではないか。(ウ)市長は、中止見直しの要望書を都に提出することとしている。道路構造が決まっているであろうこのタイミングで、要望書の書き方は難しいのではないか。

部長 (ア)検討の内容が不明であることから、分析は難しい。(イ)道路構造は未定である。答弁は控える。

市長 (ウ)明確には答えづらい。

自転車ヘルメットがカッコいいまちに／広報の充実



水谷たかこ
(こがおも)

●自転車運転中に事故に遭った場合、ヘルメット装着の有無により頭部損傷のリスクが大きく異なり、被害者だけでなく、加害者にもなってしまった人の家族等のその後の人生に大きな影響を与える。自分だけでなく、みんなのために「ヘルメットをかぶる人はカッコいい!」という意識醸成が必要だ。本市でも購入補助金制度を創設しないか。

部長 本市での着用状況等も踏まえつつ、どのような方策が効果的か具体的な検討を進めていきたい。

●(ア)公式WEBリニューアルの検討状況は。(イ)市報

リニューアルの検討状況は。職員一人一人の広報に対する意識とスキル向上が急務ではないか。

部長 (ア)令和7年9月までの現システムの契約期間を踏まえ、今年度を目途に具体的な方向性をまとめた。(イ)課題を整理し、検討を始めたところであり、必要に応じて現場の声を聞きながら検討を行っていききたい。

市長 (ウ)せっかく良い施策を行っても、それが伝わらなければもったいない。広報のレベルアップを全職員含めて図っていく必要がある。検討していききたい。

●その他、コミュニティスクールへのサポート拡充等を提案しました。

ケアラー支援／公共施設をフレグランスフリーに



安田けいこ
(生活者ネット)

●一人で介護を抱える介護者を早期に公的な支援につなげることが急務。(ア)生活上の様々な不安や課題を丸ごと受け入れる福祉総合相談窓口があるが、ネーミングや発信の仕方に工夫が必要ではないか。(イ)対応する社会福祉協議会の体制は十分と言えるのか。(ウ)ヤングケアラー実態把握のためタブレット端末でアンケートを実施しないか。(エ)社会全体で介護者を支えるために、ケアラー支援条例を制定しないか。

部長 (ア)他市事例を参考に周知啓発の推進を検討する。(イ)今年度体制強化した

が、更なる強化が必要と認識している。(ウ)関係部署で慎重に検討する。(エ)研究課題としたい。

●身近な化学物質が及ぼす人体への影響について問う。(ア)香害は健康被害。市民が安心して来庁できるように、公共施設をフレグランスフリーにしないか。(イ)今後建て替えや増築が予定されている学校のシックススクール対策は。机や椅子等備品についても対策しているのか。

部長 (ア)香りのマナー啓発ポスターの掲示により庁内では一定意識が浸透している。(イ)文科省の学校環境衛生基準に基づき対応。備品は製品の安全性の説明を納品の条件としている。

東小金井駅北口市民施設建設の早期検討



水上洋志
(日本共産党)

●公立保育園の在り方・役割を検討し明確にするべきである。(ア)コスモズ・なないうる保育園の問題はどうなったのか。(イ)民間園の一連の事態を受けて、公立保育園はセーフティネットの役割があるのではないか。(ウ)保育業務見直し方針を更に見直すべきではないか。(エ)改めて公立保育園の在り方を明確にするため、検討委員会を要綱で設置すべき。

部長 (ア)十八コスモ保育園で、市民運動新聞広告費として、会社からの指示で見積金額が変えられたとされており、不正と認識せざるを得ない。なないうる保育園は、体制整備を求め、転園希望者への措置を継続する。(イ)速やかに緊急預かりができたのは評価できる。(ウ)現時点では考えていない。

市長 (エ)市立保育園在り方検討委員会設置条例が否決となり、議会意思に反することはできない。

●東小金井駅北口・市民施設建設は5年後となった。庁内検討体制の立上げなど、実現に向けた具体化を早期に図るべきである。

市長 公共施設の配置、庁舎建設などを踏まえ、検討をどこから始められるかに至る。

●その他、介護保険制度の負担を軽減し、安心の制度にすることを求めました。

「5類」の下での責任ある「コロナ対策を



たぢば 清彦
(日本共産党)

●新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行されても、ウイルス自体がなくなつた訳ではなく、流行もなくなるわけではない。依然として風邪とは異質の危険な感染症である。WHOもパンデミック宣言は継続中である。しかしながら、無料のPCR検査が有料になり、外来診療や入院についても有料になり、ワクチン接種も来年3月以降は無料かどうか未定である。感染者数や死者数、変異株の調査は縮小された。(ア)廃止された検査キットの配布事業・日常生活品支援事業・買物支援事業・搬送事業は

継続するべき。(イ)検査・外来・入院などの自己負担が大幅に増えた。自己負担軽減策を行うべき。(ウ)後遺症に苦しんでいる方がいることが問題になっている。後遺症についての適切な理解促進と周知、医療にかかりやすいよう支援を行うべき。

部長 (ア)感染状況を注視し、感染の状況に応じて必要な支援や対応を行う。(イ)その考えはない。(ウ)関係機関を紹介する。

●その他、市営住宅について、家計急変時には柔軟な家賃設定にすることや、適切な修繕を行うこと、生活困窮する学生や若者などに対する家賃支援や奨学金返済支援を求めました。

はげと野川をこわす道路は いらぬ



坂井えつ子
(緑・つながる)

●東京都へ中止を求める要望書の提出について。(ア)提出したのか。(イ)要望書は作成済みなのか。(ウ)要望書案は、中止・見直しを求めた内容なのか。(エ)市長が持参するのか。東京都はどなたが対応するのか。(オ)提出ののポイントが取れたのか。(カ)いつ提出するのか。(キ)例年10月頃開催される都知事と市町村長との意見交換会の際に市長から都知事に「中止を求めると、直接伝えていただきたい。(ク)提出後は一両日中を目安にホームページへの掲載を。

市長 (ア)提出していない。

(イ)案は作成した。市長 (ウ)施政方針、選挙公約に沿った内容である。

部長 (エ)調整中。(オ)アポイントは今後からである。

市長 (カ)調整が完了次第提出したい。(キ)そういう機会があったら要望したい。

部長 (ク)早急に載せたい。

●東京都に道路概略検討報告書の情報開示請求をし、4月11日に入手した。(ア)市は報告書を持っているのか。それは黒塗りだったのか。(イ)情報提供を受けたのはいつか。(ウ)これまでの情報提供も黒塗りだったのか。

部長 (ア)情報提供を受けている。一部開示だった。(イ)4月10日だった。(ウ)これは全て開示されていた。